



飯能ロータリークラブ会報



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

インスピレーションになろう

RI会長 バリー・ラシン

2570地区ガバナー 茂木 正

第3グループ
ガバナー補佐 細淵 克則

「想いを繋ぎ 地域と国の発展に奉仕する」

第2815例会 2018. 8. 1

———会員増強・新クラブ結成推進月間———

天候 晴 (NO. 55-05)

会長 島田秀和 幹事 馬場正春

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 橋本君、平沼君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 島田会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想 四つのテスト
- ・卓話 矢島高明会員 藤原秋夫会員

【入会式】

◎新入会員紹介 矢島(巖)君
五十嵐正則(いがらしまさのり)様 S49年生まれ
 44歳。妻と子2人。ご長男なので実家に両親、
 祖母の7人家族。高校卒業後、酒類経営大学に
 入学。H5年、卒業。同年10月、独立行政法人酒
 類総合研究所に入所、3年間勉強された後、
 「五十嵐酒造(株)」入社。お父様が体を壊された
 ため、H26年10月、社長に就任。お父様は今も
 元気にご活躍です。埼玉県酒造組合西部地区
 支部長、飯能市国際交流協会副会長、商工会議
 所青年部会員交流委員会副委員長。私事ですが
 NY在住のお姉様やロータリアンだった祖父・
 喜八郎氏には大変お世話になりました。
 素晴らしい青年です。ご懇意にして頂きなが
 らご指導頂きますようお願い申し上げます。



◎五十嵐会員挨拶
 どうぞよろしくお願
 います。

◎島田会長よりバッジ装
 着・歓迎の言葉／誓いの言
 葉／会長より額・四つのテ
 スト・バナー贈呈／間邊R
 情報委員長より資料贈呈
 ／馬場幹事より会員証贈
 呈・所属発表「親睦活動」
 ／乾杯：大木パスト会長

【会長報告】

6月末より体調を崩されていた安藤会員は
 今日お見えになりました。皆様のご協力で本
 年度1か月を過ぎました。覚悟はしておりま

したがそれ以上にハードで忙しい日々を送っ
 ております。26日、社奉・環境・青少年・会報・雑
 誌の合同の会合に神田(敬)SAAと出席。今まで
 5委員会合同というのは無かったと思えます
 が本年度どういう形で事業を進めていくかにつ
 いて真剣な意見交換をさせて頂きました。

【幹事報告】

本日、第3回理事会を開催。第2回議事録確
 認。9月のプログラム。補佐および公式訪問。
 夜間例会、親睦ゴルフ。古稀等支払元の変更は
 会長幹事・会計に一任。西日本豪雨被災者への
 義援金は他クラブと調整して決定。以上承認。
 飯能JC 45周年祝賀に対する礼状を頂戴。
 ロータリーレート 1ドル=112円

【委員会報告】

◎社会奉仕委員会 大崎君
 29日、社奉部門セミナーに前島委員と出席。
 ◎前年度親睦活動委員会 大崎君
 8/22「前年度親睦旅行ビデオ鑑賞懇親会」
 中里(昌)パスト会長に編集等して頂きました。
 ◎会員増強委員会 本橋君
 8/8はディスカッション形式で増強につ
 いて討議します。よろしくお願います。

【出席報告】無届欠席0 加藤出席向上委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
59名	6名	55名	93.22%	82.76%

【M U】

7/29 (地区) 大崎君、前島君

7/30 (新狭山) 和泉君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・本日の入会者五十嵐正則君、皆さんよろしくお願ひ致します。 矢島(巖)君
 - ・五十嵐さん入会おめでとうございます。 吉島君、田辺君、前島君、中里(光)君
 - ・五十嵐さん入会おめでとうございます。島田年度初めての入会者です。皆様よろしくお願ひ致します。会員増強委員会一同心より喜んでおります。本橋君
 - ・入院で欠席が続き、また、お見舞いを頂き有難うございました。外泊許可中ですが出席致しました。島田会長はじめ本年度役員の皆様頑張って下さい。 安藤君
 - ・お蔭様で入会43回目を迎える事が出来ました。これからも頑張りますのでよろしくお願ひ致します。 大木君
 - ・入会記念お祝ひ有難うございました。杉田君
 - ・第1例会で国歌斉唱致しましたが、観音寺に「さざれ石」を建立しました。是非お立ち寄り(お参り)下さい。 服部君
 - ・高3砲丸娘、明日、三重インターハイです。これから応援に行ってきます！ 大野(康)君
 - ・早退します。 吉島君、吉田(行)君
- 本日計 24,000 円、累計額 78,000 円。

【卓 話】

講師紹介

福島プログラム委員長

飯能ロータリークラブを考えるパート1

飯能RC 矢島高明会員 藤原秋夫会員



◎矢島(高)会員：本年度国際奉仕委員会委員長の矢島です。5年程前からの継続事業「ベトナムの高校へのPC寄贈」について会員皆様にお諮りし今後の方向性を確立したいと考えています。卓話後にアンケートを行い、それを理事会に諮って決議された内容を発表させて頂く流れです。

◎島田会長：2013年に始まった当事業は藤原委員長(当時)が大変苦勞されて今日まで来ました。スタート時には「いつまで」「どれ位」継続するかについては未定だったと思いますが今年で5年目。私は今年度、組織をつくるに当たり「国際奉仕＝ベトナム」という事で本当に良いのか、「良い事をやっているのだから良い」ではなくて、皆さんのはっきりしたご意見によって「飯能クラブの事業」にもっていかなければ意味が無いのではないかと考えました。そこで早目に皆さんの考えを伺い、継続か止めるか、今年だけ実施するか、決めて進めたいと思います。藤原会員は旅費も全部自分持ち、予算が無い場合には自腹だったり有志を募ったりして来られた。「本当にこのままで良いのかな」というのが今回の趣旨です。現在まで80台、150万円の支出が本会計より出ています。安藤年度に幹事として私が予算組みさせて頂いた5年前には繰越金が500万円でした。それが段々と減り、未確定ですが今年は150万円位。それがイコールPC代ではないのですが、今後継続する上でよく見直しをし予算もきっちり決めてやらないと本年度の終わる時点で繰越金が無くなってしまふのではないかと危惧しております。「例会の食事代を削ってでも国際奉仕を」というのは立派な考え方ですが、例会費を削る事はなかなか難しい。藤原会員がご苦勞された事業をゴールまで持っていきたいというのがありますが、「飯能クラブの事業」として、一度立ち止まって考える事は、私に課せられた責任かと思ひ、本日出させて頂きました。



◎藤原会員：前年度国際奉仕委員長の藤原です。5分間のビデオをご覧下さい。[視聴]これは式典に取材が入りTV放送されたものです。「日本のRCとベトナム・タイニン省教育委員会とが協力して高校に教育設備を寄贈した」式典で日本のクラブからPC20台、プリンター2台が寄贈され、学力向上、情報検索、オンラインでの勉強が出来る事に期待」とアナウンサーが伝えていました。[視聴]教育委員長の話。マイ君の母校。地区の梅澤委員長の話。校長の御礼の言葉です。

5年前、私が国際奉仕委員長を受ける時に、吉田(武)会長から「国際奉仕は海外へ行って何かして欲しい」という話がありました。その時に小谷野会員、吉田(武)会長、私でベトナムに行ったのですが、何故ベトナムだったかと言うと、「海外」と言ってもどこへ行って何をしたらいいのか分からず、奨学生だったマイ君の母国ベトナムなら彼に通訳や案内が出来るという事で選んだのです。ベトナムの山奥まで行き小・中・高と見て、帰ってから何を贈ったらいいか考えました。そして、長く使えて、大勢の生徒が使えるPCに決めました。ベトナムに3回行き計80台を贈ったわけですが、今回は地区の方も一緒に参加し視察しました。良ければ今後は地区も応援するという事で毎年30万円を出して下さるそうです。それには飯能RCが継続事業としてやるかどうかが大変な事です。私としては出来れば皆様にご協力頂いて続けていきたいなと思っています。よろしくお願ひ致します。

◎矢島(高)会員：5年前の国際奉仕委員会はその年度の国際奉仕事業を模索する中で、元奨学生を通してベトナムの高校からいくつかの要望があったのですが、PC寄贈という事業を展開していこうとの結論になっていったわけです。ベトナムの高校ではパソコン教室はあるのですがPCが1台も無いというような現状を受け、国際化・情報化に伴うIT教育の推進を考慮して、多くの生徒が活用出来るパソコンを贈ろうという事で、5年で総数80台、プリンター8台の寄贈を行ってきたわけです。寄贈を受けた学校関係者からはビデオでも見て頂いた通り「大変良かった」という事で「もっと教育に力を入れて素晴らしい人材を育成します」との声も聞かれたという報告を受けております。一方で、この事業を始めるあたり、予算・台数・期間が確認されたのか、されなかったのか、今日に至って来てしまったわけです。今までに150万程の予算を捻出。今後この事業を展開していくには毎年40万からの国際奉仕の予算が必要。5年半程前まで500万円程の繰越金が毎年あったものが、今年は150~160万円。ここ1、2年で繰越金が無くなってしまふ状態です。そうするとRCの根本、メインである親睦の予算も削る等いろいろな事を考えなければならぬ。一つ私が申し上げたいのは、藤原会員に対してとかベトナムの学校だからという事では決してないという事です。「RCは慈善団体ではありません。発展途上国の援助が目的の団体でもありません。金集め人集めが目的の団体でもありません」という文言もある事を考えると大変難しい質問を皆さんに投げかけるわけですが、このままズルズルしていくわけにはいかないのかなと考えて、アンケートを実施させて頂きます。

◎島田会長：今回の件で藤原会員から3回位レクチャーを受けました。身銭を切って大変苦勞されている。ただ、先送りしてはいけないというのが私の考え方です。継続されるのであれば「クラブの事業」でなければいけないと思います。集計結果を理事会で採まさせて頂き、この事業を考えていきたいと思っています。